

町民の皆様へ

町民の皆様には、日頃より、町防災行政に格別なご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、近年は、大地震や集中豪雨、大雪、火山の噴火などの自然災害が全国各地で発生し、多くの尊い命や財産が失われております。これらの自然災害は、いつ、どこで発生するかわからないため、一度発生するとその被害は甚大なものとなります。特に大型台風や集中豪雨等による河川の氾濫は、利根川に面している本町においては、非常に注意しなければならない災害の一つであります。

本町では、千代田町地域防災計画が策定されておりますが、防災の基本は、「自助・共助・公助」とされております。このうち公助（行政が行う防災対策）については、今後も継続して努力していく所存ではありますが、自助（自分の身は自分で守る）、共助（自分たちの地域は自分たちで守る）といった地域ぐるみの防災意識の向上が被害を最小限に抑えるために重要な要素となっております。

この防災マップは、その防災活動に役立つものと考えておりますので、平常時は日頃の防災対策に、いざ有事の際には、落ち着いて行動できるように活用していただければ幸いです。



千代田町長
高橋 純一

目次

●町長挨拶・目次	表紙裏
●特別警報をご存知ですか？	1
●避難情報を正しく知って避難しましょう！	2
●避難に関する情報（風水害時）	3
●風水害対策	4
●洪水災害について	5
●地震対策 地震発生！そんなときどうする	6
●揺れやすさマップ	7
●火災対策 火災発生！そんなときどうする	8
●非常時持出品の準備＆チェック	9
●わが家の防災対策＆チェック	10
●応急手当	11
●わが家の「防災・緊急情報」メモ	12
●避難所・避難場所一覧	13
●最大被害区域想定図	14・15
●全体図	16・17
●詳細地図 1～4	18～25
●早めの避難があなたの命を救います	裏表紙

特別警報をご存知ですか？

特別警報は、大規模な災害の発生が切迫していることをお知らせする新しい警報です。
普段からの備えと早め早めの行動があなたや身近な人の命を守ります。

特別警報の発表基準

現象の種類	基 準	
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合	
暴風		暴風が吹くと予想される場合
高潮	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	高潮になると予想される場合
波浪		高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	

表中の“数十年に一度”の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。

大津波警報などを特別警報に位置づけます

現象の種類	基 準
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合（大津波警報を特別警報に位置づける）
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合 (噴火警報(噴火警戒レベル4以上)及び噴火警報(居住地域)を特別警報に位置づける)
地震 (地震動)	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合 (緊急地震速報(震度6弱以上)を特別警報に位置づける)

特別警報が
発表されたら

- ・尋常でない大雨や津波等が予想されています。
- ・重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ・ただちに身を守るために最善を尽してください。

命を守るために情報の収集に努めてください

特別警報は、自治体や報道機関を通じて
伝えられます。テレビやインターネット、自
治体から発信される情報の収集に努めて
ください。



- ・「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。
- ・これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。
- ・普段から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

※気象庁HPより一部を抜粋して掲載

「特別警報」については、
気象庁HPに詳細が
掲載されていますので、
ご確認ください。

気象庁 〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4

電話：03-3212-8341 FAX：03-6689-2917 (耳の不自由な方向け)

気象庁ホームページ

<http://www.jma.go.jp>

特別警報について

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/tokubetsu-keihou/>